

別紙

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

- (1) 事業所の名称  
府中市クリーンセンター
- (2) 事業所の所在地  
府中市鶴飼町7 4 番地2
- (3) 業種  
廃棄物処理事業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成29（2017）年度を基準年度とし、平成30（2018）年度から令和4（2022）年度までの5年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

原単位算定に用いた指標：可燃ごみ処理量（t）

温室効果ガスの種類	基準年度の実績(a)	目標年度		計画期間の実績			
		上段：目標(b)	下段：削減率(c)	(上段：原単位実績(d), 下段：削減量の対基準年度比(e))			
	平成29年度	平成34年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	0.522 (3,988 t-CO <sub>2</sub> /7,633t)	0.508 (3,760 t-CO <sub>2</sub> /7,408t)	0.523 (3,977 t-CO <sub>2</sub> /7,605t)	0.485 (3,695 t-CO <sub>2</sub> /7,617t)	0.385 (2,954 t-CO <sub>2</sub> /7,682t)	0.460 (3,526 t-CO <sub>2</sub> /7,653t)	
		3	0	7	26	11	
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
温室効果ガス総排出量	0.522	0.508	0.523	0.485	0.3856	0.4607	
		3	0	7	26	11	
エネルギー消費原単位(原油換算k1)	0.1964	0.1944	0.200	0.1936	0.1983	0.1983	
		1	-1.8	1	0	0	
実績に対する自己評価		基準年度のエネルギー消費原単位に比べて、原単位実績が増加しています。主な増加原因は、排ガス処理設備のダクト清掃が十分でなかったことによる、乾燥効率の低下と思われる。各設備の点検整備を予防保全的に行っていく必要があります。エネルギー消費の削減に向けた検討を行うことと、併せてごみの分別指導・減量化を進め、エネルギー削減を実現していきます。					

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100      削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

#### 4 温室効果 ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

##### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	灯油使用量を昨年比原単位で0.6%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>ダクト清掃等の点検清掃を行い、効率的な運転を行う。</li> <li>乾燥・脱臭工程での適正な温度管理を行う。</li> </ul>
2	電気使用量の削減	電気使用量を原単位で0.6%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>冷暖房温度の適正管理</li> <li>使用していない空間の照明器具の消灯の徹底</li> <li>施設の運転について、一系統のみの運転や短時間運転にならない効率的な運転管理に努める。</li> <li>電力デマンドを監視し、適切な運転管理により、使用量の削減に努める</li> <li>使用電力の大きな設備の定期的な部品交換を行う。</li> </ul>

##### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

##### ○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	市民啓発（広報）		廃棄物の出し方・分け方について、広報等により、廃棄物量の削減や分別の推進を随時実施。

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。